

近畿児童養護施設協議会 第36回 職員研修会を開催しました

日時：令和3年12月7日（火） 13時15分～15時30分

会場：あべのハルカス 25階 会議室EF

参加者：62名



小杉恵先生（大阪母子医療センター
子どものこころの診療科 主任部長）の講演



●参加者の声●

○分かりやすい言葉（当事者目線）とイラストなどを用いてお話していただき、たいへん参考になりました。普段現場（仕事）にいと狭くなってしまう視野ですが、大きな目線（視野）で子どもの育ちを考える機会となりました。

○研修内容が身近であり、子どもたちへの対応に困っていたので聴き入りました。常日頃から子どもの行動には背景があると先輩職員から学び、私自身考えながら関わっています。しかし、今回のお話から入所理由のトラウマとコロナの時期で抱えたストレスは子どもたち自身に大きくのしかかっている状況であり、職員としてアタッチメントの輪の表のように満足していけるよう支援していきたいと思いました。

○子ども時代は“自己中心的でいい”ということやアタッチメント眼鏡・トラウマ眼鏡というワードが新鮮でした。

○施設で生活する子どもたちが「かわいそう」と思われがちですが施設の守られた生活の中で健全に育つ部分もあるのだと分かり、日々の支援の自信になりました。

○子どもだけでなく、大人のストレスに対する話を聞くことができ良かったです。

第 36 回職員研修会開催要綱

1. 総主題 「コロナ禍における重層的ストレス状況下に晒された児童への理解と支援」
～児童養護施設の子どもたちの育ちを守る、児童養護施設だからできること～
2. 趣 旨 2020 年初頭から現在まで続く『新型コロナウイルス』による社会混乱により、社会的養護の施設で暮らす子ども達にとっても、長期間に渡り不自由でストレスフルな生活を強いられることとなりました。
1 年目の 2020 年は緊急事態宣言の発令に伴う、一斉休校の措置がとられたことにより、学校に通えず、友達とも会えず、外出も制限される状況が続きました。2 年目となる 2021 は短縮授業を含め、一定の登校機会を得ましたが、今度は若年層への感染リスクも高いとされる変異株の感染拡大を受け、再び外部との接触を制限されると共に、直接的な感染の恐怖にも晒されることとなりました。
もとより被虐待体験や、虐待・DV 目撃といったストレスフルな家庭環境を経験し、入所を余儀なくされる子ども達が多く暮らす施設において、更に経験したことのないストレスが積み重なることで、様々な形で身体症状を発出するリスクが高まります。
今回の研修会は、「コロナ禍における重層的ストレス状況下に晒された児童への理解と支援」をテーマに実施します。
講師の大阪母子医療センター 子どものこころの診療科・主任部長の小杉恵先生より、コロナ禍において感染リスクと闘いながら、ストレスフルな生活を送る子ども達を支えるスタッフが、様々な不安や揺れを表出する子ども達の言動を受け止め、冷静に且つ適切な配慮を持って支援を展開出来るよう、実践を通じた講演をしていただき、学びを深める機会にしたいと思います。
3. 開催日時 令和 3 年 12 月 7 日 (火) 13:15～15:30 (受付 12:50～)
4. 会 場 あべのハルカス 25 階 会議室 E F (大阪市阿倍野区阿倍野筋 1-1-43)
5. 参加対象 児童養護施設職員・その他関係者
6. 定 員 約 70 名 (定員を超えた場合は、調整させていただく場合がございます)
7. 参加費 3,000 円 (参加費用は当日、受付でお支払いください)

8. 講師 小杉恵氏
(大阪母子医療センター 子どものこころの診療科 主任部長)

プロフィール

小児科医として臨床研修を開始。平成15年からは児童精神科医として大阪府中央子ども家庭センターで医療相談に携わる。
平成20年より大阪母子医療センター 子どものこころの診療科にて子どものこころの診療にあたる。

9. タイムスケジュール

12:50	13:15	13:30	15:00	15:20	15:30
受付	開会式 オリエンテーション	講義	質疑応答	まとめ 総評	閉会式 終了

10. その他
- ・感染症対策を講じ、対面での研修を開催いたします。
 - ・検温など日々の体調管理をおこなった上でご出席ください。
 - ・研修時には、必ずマスクの着用をお願いします。
 - ・当日、体調不良で発熱・咳などの症状がある場合は、参加をご遠慮ください。
 - ・状況により研修の中止・オンラインへの変更もございますので、ご了承ください。

11. 事務局 近畿児童養護施設協議会 事務局 (担当: 居関^{いせき}、富岡)
大阪府社会福祉協議会 施設福祉部 TEL: 06-6762-9001